

2026 年 7 月 30 日

株式会社 B e e X

B e e X、AI 駆動開発を「体験」から「本格開発」へと導く 「BeeX AI Journey 支援」を提供開始

～サンドボックス環境での開発体験から実業務テーマでの実践、本番システム開発まで段階的に伴走～

株式会社 B e e X（本社：東京都中央区、代表取締役社長：広木 太、以下、BeeX）は、AI を活用した新しい開発手法「AI 駆動開発」への取り組みを、体験から実業務テーマでの実践、本番システム開発まで段階的に支援する「BeeX AI Journey 支援」の提供を開始いたしました。

本サービスは、構築済みサンドボックス環境での「体験」、実業務テーマを用いた「アクセラレーション」、要件定義から本番システム構築までの「本格開発」の 3 段階で構成されます。BeeX は、実案件および社内検証で培ったノウハウをもとに、お客様が AI 駆動開発をいち早く体験し、自社の業務テーマで効果を検証したうえで本格開発へ進むまで、一貫して伴走します。

■サービス提供の背景

AI 駆動開発では、AI が開発ワークフローを主導し、人は仕様の定義と成果物のレビューに専念します。生成 AI のコード生成能力は高く、個人レベルの生産性向上は比較的容易に実現できます。しかし、これを組織へ展開しようとする、開発環境やツールの組み合わせ、セキュリティ・ガバナンスの担保、AI が生成した成果物のレビュー体制など、個人利用とは異なる難しさが生じます。

さらに、AI 駆動開発にはまだ確立されたベストプラクティスが存在しません。ツールもモデルも急速に進化を続けており、「あるべき姿」自体が変化し続けています。導入を検

討する段階では、自社への適用可能性や投資対効果も見通しにくいのが実情です。

こうした背景を踏まえ、BeeX は、AI 駆動開発を「試す」だけでなく、実業務テーマでの実践を通じて効果を検証し、本番システム開発へつなげるためのサービスとして「BeeX AI Journey 支援」を提供します。お客様自身の実践を通じて、自社に合った AI 駆動開発の進め方を確立できるよう後押しします。

■主な特長

本サービスは、AWS 上の AI 駆動開発環境、実案件・社内検証で蓄積したテンプレート・プロンプトなどのナレッジ、BeeX エンジニアによる伴走を組み合わせ、お客様の状況に応じて、以下の 3 つのステップで支援します。

- **AI 開発体験プログラム（Stage 0→1：未導入から個人活用へ）** 構築済みのサンドボックス環境で、AI 駆動開発を短期間で体験するプログラムです。アカウント発行後すぐに利用でき、ナレッジの提供と QA 対応（設計助言、プロンプト指導）を通じて、お客様自身が AI を活用してアプリケーションを開発する流れを体験できます。
- **AI アクセラレーションプログラム（Stage 1→2：個人活用からチーム展開へ）** お客様の業務課題をテーマに、お客様主体で AI 駆動開発を実施します。BeeX は、お客様の環境で AI 主体の開発を始められるよう、初期設定を支援するとともに、設計助言やプロンプト指導などの QA 対応で伴走します。プログラム終了時には、本格開発へ進むための判断材料をまとめます。
- **本格開発支援（Stage 2→3：チーム展開から組織での方法論確立へ）** BeeX エンジニアが開発チームに参画し、要件定義から本番リリースまでを支援するサービスです。BeeX 標準の開発フローとテンプレートを活用しながら、アクセラレーションプログラムの成果を踏まえ、AI 駆動開発を継続的に活用できる開発体制づくりまで支援します。

■サービス概要

メニュー	概要	期間	想定価格 (税別)
AI 開発体験プログラム	BeeX が構築済みのサンドボックス環境で、AI 駆動開発をすぐに体験。ナレッジ提供と QA 対応（設計助言、プロンプト指導）により、お客様自身がアプリケーションを開発します。	約 1 週間 ～1 ヶ月	30 万円
AI アクセラレーションプログラム	お客様の業務課題をテーマに、お客様主体で AI 駆動開発を実施。BeeX はお客様環境の初期設定支援と QA 対応（設計助言、プロンプト指導）で伴走します。	1～3 ヶ月	270 万円～
本格開発支援	要件定義から AI 駆動開発による本番システム構築まで、BeeX エンジニアが開発チームに参画して支援します。	3 ヶ月～	個別見積

※ 期間・価格は標準的な想定であり、お客様の環境や対象テーマに応じて個別にご相談のうえ決定します。

■想定するお客様

- AI 駆動開発をまずは体験し、自社の業務テーマで効果を検証したい企業
- AI コーディングツールを導入したが、開発プロセスへの組み込み・定着に課題がある企業
- 開発の内製化や自社主導の開発体制への移行を進めたい企業

BeeX は今後も、クラウド基盤構築から生成 AI 活用支援まで、これまでに培った知見を組み合わせ、お客様が AI を一過性のツール利用にとどめず、実際の開発プロセスとして活用・定着できる状態づくりに貢献してまいります。

■BeeX について

BeeX は、SAP など基幹システムを中心としたエンタープライズシステムのクラウドインテグレーションや、クラウド関連の運用・保守・管理事業およびソフトウェア開発を展開しています。AWS プレミアティアサービスパートナーとして、クラウドと SAP に精通したコンサルタントが、お客様の基幹システムのクラウド移行と DX 推進を支援します。

会社名：株式会社 B e e X（東京証券取引所 グロース市場：証券コード 4 2 7 0）

所在地：東京都中央区銀座 7 - 1 4 - 1 3 日土地銀座ビル 1 0 F

設立：2 0 1 6 年 3 月

代表者：代表取締役社長 広木 太

URL：<https://www.beex-inc.com>

事業内容：クラウド関連の運用・保守・管理事業およびソフトウェア開発

※ 記載されている会社名、製品名、サービス名は、各社の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 B e e X

ビジネス開発推進本部 マーケティンググループ

e-mail：beex-marketing@beex-inc.com